

令和3年度 自己評価結果報告書

作成 学校法人阿津坂学園 明治幼稚園

1. 本園の教育目標

「明るく！優しく！温かく！」

当園はよく遊ぶことをモットーにしており、子ども達は遊びを通してたくさん学びます。この学びの中で、笑顔と愛情いっぱい職員が、子ども達の喜怒哀楽を引き出し個性豊かな子どもに育てていくことが大切だと考えます。愛情いっぱいのご家庭の中で人生がスタートした子どもは、家庭教育から幼児教育、そして学校教育を受けます。生涯にわたる人格形成の基礎を培うといわれている幼児教育を、当園は「明るく・優しく・温かく」を大切に、小学校へと進む準備をこの幼稚園教育の中で整えていくと信じています。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って自己評価を実施することによって、教諭自らが客観的に自園を見る目を養い、幼稚園教育要領の改訂を踏まえ、一人一人の子どもを大切にされた質の高い教育の実践を目指す。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	保育の計画性	B	年間指導計画・月案など、先を見通した保育計画を立てている。各学年会議や全体会議を通じ情報を共有し、連携を密にしている。週案や日案の保育指導計画案を作成し、日々の目標や記録を保育に生かす。
2	保育の在り方	B	笑顔で子どもを迎え、個々を認め受け止めることができている。子ども達と対話する中で、相互にコミュニケーションをとっている。たくさんほめる、ありがとうをいう、当たり前を大切にしている。環境を整え、指導助言を明日の保育と自身の成長に生かす。
3	教職員の連携	A	職員間の挨拶を基本に、クラス会議・学年会議・職員会議など、細かなコミュニケーションをとっている。また指揮系統を重んじお互いを尊重する。各行事の役割分担や様々な情報の共通理解を図る。
4	資質や能力	B	各教諭が様々な形の研修に参加し、質の向上を図っている。園内研修を積極的に取り込み、評価・助言する機会を増やす。
5	保護者への対応	A	園の方針をもとに、来園やご家庭へのご連絡などで、子ども・保育・園の様子を伝え、理解を深めてもらえるよう努力している。また、保護者相談会や保護者一斉メール連絡を取り入れる。

評価 (A…たいへんよい B…よい C…一部検討を要する D…改善を要する)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	一人一人の幼児、一人一人の保護者を大切にされた、質の高い教育や柔軟な対応をすることができている。さらなる質の向上に向けた課題も明確になった。

5. 改善と課題

	具体的な改善と取り組み	課題
1	環境 鳥小屋の改築や園庭拡大工事を実施し、園児の豊かな環境の確保や危険個所の整備。	雨漏りに対する廊下やテラスの環境整備をする
2	安全管理 緊急連絡や緊急事態発生に備えての、危機管理マニュアルの整備。	内外部からの園内セキュリティ対策の改善をする。
3	連絡 職員会議なども含め、職員の報連相の徹底。(全員が周知・記録を回覧) 保護者への一斉連絡「シルフ」の作成。	配布物の簡易化

6. 学校関係者評価委員会の評価

幼稚園の教育目標をもとに、改善と課題にしっかり取り組まれています。

自己評価と学校関係者評価について

この報告書は、明治幼稚園の教職員が令和3年度のスタートからの保育を振り返り、様々な項目にどのように取り組んだか、そして園がどのような方針で教育目標を掲げているのかということ客観的に評価しまとめたものです。その結果から、不十分な所を次の課題として園全体で取り組み、保育の質を高め教職員自らが誇りを持ち保育教諭として資質を向上させ、明治幼稚園の幼児教育レベルの向上につなげたいと考えております。

何より大事にしていることは、子ども1人1人の「生きる力を育む」愛の充電です。

今後とも、園長を筆頭に全職員で努力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

令和3年11月 学校法人阿津坂学園 明治幼稚園長 阿津坂 千恵子